

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 4月28日更新

事務事業名		放課後児童クラブ室整備事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	衛藤 文明
	施策	4 子育て支援の充実				所属課	子育て支援課	担当者名	宮崎 大輔
	施策の柱	16 子育てと仕事の両立支援				所属班	保育班	(内線)	1182
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 11345	根拠法令	児童福祉法、合志市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志楓の森小学校の学童クラブ室創設のための造成、建築工事及び国の指針である1クラブ40人以下の定員を超えて保育し大規模化している学童クラブの分割等の施設確保や手狭等、保育環境の改善のため学童クラブ室の整備を行う。今後も、大規模な学童クラブの分割や施設の老朽化、手狭等、それぞれの学童クラブの状況を見ながら検討する必要がある。厚生労働省の「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の策定に基づき、合志市合志市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定。また、国において「放課後児童クラブ運営指針」が策定され、放課後児童クラブに関する運営及び設備についてより具体的な内容が定められたため、学童クラブの適正な運営や保育環境改善を図り、児童の安全安心を確保する。
【業務の流れ】	①次年度年度放課後児童クラブ整備に伴う事前協議（用地の確保・実施設計委託など含） ② 9月 県へ事前協議書提出 ③ 10月 県による現地調査 ④ 12月 県への協議書正式提出（県：施設整備審査会） ⑤ 2月（県：国庫補助協議） ⑥ 6月 国庫補助内示予定 ⑦ 内示後、工事契約 ⑧ 竣工後、検査・実績報告書提出
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	平成27年度学童クラブ代表者会議の中で、西合志東小・合志南小・南ヶ丘小の学童クラブの新設要望が出されている。平成29年度には西合志南小学童クラブで待機児童が発生し、施設整備について要望書が提出された。また、中央小学校区でも宅地開発が進んでおり、今後学童保育施設の不足が見込まれる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO) 合志楓の森小学校第1、第2、第3、第4、第5、第6学童クラブ室整備に伴う造成及び接道改良工事、建物建築工事を実施した。		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志南小・南ヶ丘小など各学区の学童クラブの施設確保について、関係部署と連携を図り協議を行っていく。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 小学校の敷地内にあるクラブ室	箇所	学童クラブの創設、改修がないことによる委託料・工事請負費の減
イ 小学校の敷地外にあるクラブ室	箇所	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等学童クラブ室	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
	箇所	→ ア 施設の整備が必要な学童クラブ室
	箇所	→ イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)学童クラブ室を整備することによって、安心安全に保育できるようにする。	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
	箇所	→ ア 整備した学童クラブ室
	人	→ イ 整備した学童クラブ室に入所した児童数
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
新設校、大規模化による分割及び待機児童解消に伴う施設整備であるため、整備した施設に入所した児童数として設定した。		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア	箇所	16	16	16	16	16	16	16	16
	イ	箇所	5	7	9	9	13	14	15	15
② 対象指標	ア	箇所	3	3	6	6	1	1	1	1
	イ									
③ 成果指標	ア	箇所	2	3	6	6	1	1	1	1
	イ	人	92	100	120	143	160	40	40	40
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	35,416	54,930	54,930	108,624	8,854	8,854	8,854
		都道府県支出金	千円	8,854	13,731	54,930	27,156	8,854	8,854	8,854
		地方債	千円		118,500	133,200	61,600			
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	59,110	91,544	7,775	3,991	8,854	8,854	8,854
	(A) 事業費計	千円	103,380	278,705	250,835	201,371	0	26,562	26,562	26,562
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	2	2	2
		延べ業務時間	時間	800	920	850	700	430	430	430
		(B)人件費計	千円	3,153	3,645	3,386	2,760	1,713	1,713	1,713
トータルコスト(A)+(B)		千円	106,533	282,350	254,221	204,131	1,713	28,275	28,275	26,562

事務事業名	放課後児童クラブ室整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2 年度の後評価、ただし複数年度事業は 2 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2 年度目標達成度評価	☒ 達成した 楓の森小学校の学童クラブを当初予定通り整備した。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 3 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 合志楓の森小学校第 1 から第 6 学童クラブ室の創設に向けた工事の実施。 また、他の小学校区においても宅地開発など状況を鑑みながら施設の確保について関係機関等との協議を進めていく。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 国庫補助事業で実施するため、成果向上の余地なし	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 建物構造を検討することで、事業費削減を図ることが出来る。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

定員数を超過している学童クラブがまだ複数箇所あることから、今後も学童クラブの状況を確認しながら、民設民営の検討も含め、学校教育課・学校など関係機関と連携を図りながら協議を行っていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策